

* 編集後記 *

本号では、展望で東京理科大学の菊池喜昭先生に、「津波に対して粘り強い防潮堤」についてご執筆頂きました。沿岸、海洋構造物に、補強土工法を適用する試みを振り返り、また 2011 年の東日本大震災の被害を受けて、IGS 日本支部の「ジオテキスタイルによる粘り強い強化防潮堤開発委員会」で検討された問題点について解説されています。

また、技術報文では、大阪府立産業技術総合研究所の西村正樹氏らに「ガス透過性防水シートを用いたキャッピング工法の開発と除染廃棄物仮置場への適用」、擁壁用透水マット協会の弘中淳市氏らに「実物大降雨実験による擁壁用透水マットの排水性能に関する研究」について、技術紹介を頂きました。

東日本大震災の災害経験を意識したものもありますが、それに限らず、最近では、ジオシンセティックスを使った構造物の新しい用途、新しい機能を見いだす技術開発がたくさん出てきていると感じています。

本号担当：内村 太郎、榎尾 孝之、木幡 行宏

IGS 日本支部編集委員会(名簿)

委員長	木幡 行宏	室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境系領域社会基盤ユニット
幹事	西村 淳	三井化学産資(株) 環境資材事業部
幹事	榎尾 孝之	太陽工業(株) 国土環境エンジニアリングカンパニー 事業開発室
委員	内村 太郎	東京大学大学院工学系研究科
委員	荻迫 栄治	清水建設(株)技術研究所
委員	小浪 岳治	岡三リビック(株)技術部
委員	高橋 真一	(株)大林組技術研究所
委員	川島 則子	(株)クラレ 原料資材第二部
委員	原田 尚幸	(株)錢高組技術本部技術研究所
委員	平川 大貴	防衛大学校システム工学群建設環境工学科
委員	川邊 翔平	東京理科大学理工学部土木工学科地盤工学研究室
委員	鳥海 信弘	東洋紡(株)東京支社スパンボンド事業部

IGS 日本支部会員現在数 (2013年7月末現在)

個人会員 208名 学生会員 16名 特別会員 17社 合計 241名

平成25年7月31日

ジオシンセティックス技術情報 (国際ジオシンセティックス学会日本支部・会誌) Vol.29, No.2

発行：国際ジオシンセティックス学会日本支部

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公益社団法人 地盤工学会内)

事務連絡：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学地圏科学研究センター 桑野研究室内

TEL 048-858-9239 FAX 048-858-9239 E-mail iju@jcigs.org